

## 今後の予定

本年度の今後の予定は以下のとおりである。

ヘルシープラン策定要領について

ヘルシープラン策定要領骨子（案）について記載すべき内容について整理を行い第3回検討委員会（3月中旬予定）にお示しする。

物質収支モデルについて

三河湾については、今回参考として紹介した計算実行結果の精度向上を図り、気仙沼湾、播磨灘北東部海域については、流動モデル及び水質 - 底質結合（生態系）モデルのベースモデルの結果をお示しする。

来年度計画について

統括検討委員会が来年度に実施すべき内容（案）及び地域WGの来年度の実施計画（案）も含めたスケジュール（案）を作成し、第3回検討委員会にお示しする。

参考までに、今度3年間の作業計画イメージを表1に示す。

表 1 平成 22 年度以降の作業計画イメージ

年度	月	業務内容			
		本検討委員会での作業	モデル地域での主な作業（想定）		
平成 22 年度	4	検討委員会設置			
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進すべき活動、有効な実施方策、環境改善技術の動向等整理</li> <li>・モデル地域の調査方針検討</li> </ul>	物質収支モデルの計算条件検討 → 委員会(6/17) (調査方針)	地域 WG 設置	
	6			夏季調査	
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地域の調査計画取りまとめ</li> </ul>	物質収支モデルの構築	秋季調査	
	8			調査結果報告 実証試験案検討	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルシープラン策定要領の骨子（案）</li> <li>・モデル地域での調査結果取りまとめ</li> </ul>	委員会(1/27)	1月冬季調査	
	10			冬季調査結果報告 実証試験案報告	
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証試験案取りまとめ</li> <li>・次年度の計画作成</li> </ul>	次年度の計画作成 → 委員会(3月中旬)		
	12				
	平成 23 年度	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋季、冬季の調査結果解析</li> <li>・モデル地域で不足している情報等検討</li> <li>・実証試験案の有効性について既存事例等から検証</li> </ul>	物質収支モデルの改良	5月春季調査
		2			委員会(6月)
		3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の計画作成</li> </ul>	実証試験案による効果の程度検証	実証試験
		4			
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の計画作成</li> </ul>	次年度の計画作成 → 委員会(3月)		
6					
平成 24 年度		7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海域ヘルシープラン策定要領の作成</li> </ul>	物質収支モデルの改良	実証試験
		8			委員会(6月)
		9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証試験スケール、大規模スケールの感度解析</li> <li>・短期的に実行可能なスケール、中長期的なスケールの検討</li> </ul>	委員会 10月	モデル地域のヘルシープラン策定
		10			
		11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム開催</li> </ul>	委員会(3月)	
		12			
		1			
	2				
	3				

：栄養塩管理方策の検討

：物質収支モデルの構築

：委員会